

職業体験「ぷちおおいそ2023」への参加



自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 田中 勇一 等陸尉）は令和5年10月29日（日）、大磯プリンスホテルで開催された子供向け職業体験イベント「ぷちおおいそ2023」に参加した。

「ぷちおおいそ2023」は、会場内に設けられた仮想タウン「ぷちおおいそ」において、大磯町内の小学2年生～6年生の280名が職業探しから給料を受け取って消費するまでの流れを体験して社会の仕組みを学ぶイベントで、仮想タウンには「町役場」などの行政機関や金融機関、商店、企業などがあり、子供たちが様々な職業を体験し、給料として得た仮想通貨「ぷち」を使って商店でお菓子などを買ったりすることが出来る仕組みとなっている。

仮想タウンの「自衛隊」では、職業体験として「ロープワーク」と「手旗信号」の訓練を実施し、子供たちは「もやい結び」、「巻き結び」等のロープワークや、「おおいそ」、「がんばれ」等の手旗信号に挑戦した。1回約20分の職業体験が終わると、子供たちは、給料を受け取るための証明を書いてもらい、「楽しかった。次は警察に行こう！」などと言いながら、目を輝かせて次の職業体験に向かったり、働いて得た給料で綿菓子やポテト、ジュース等を買って楽しく食べたりしていた。

平塚地域事務所は「今後も各市町の職業体験や「総合的な学習の時間」に積極的に協力し、自衛隊の活動をアピールしていきたい」としている。



部隊研修（防衛省）

自衛隊神奈川地方協力本部 横浜中央募集案内所（所長 菅井如良 1陸尉）は、横浜中央自衛官募集相談委員会及び市ヶ尾自衛官募集相談委員会の募集相談員に自衛隊に対する理解を深めていただき、募集成果の一層の向上に資するため、令和5年11月7日（火）に防衛省（市ヶ谷駐屯地）での部隊研修を実施した。

部隊研修には、横浜中央自衛官募集相談委員会及び市ヶ尾自衛官募集相談委員会から、合わせて7名の募集相談員に参加していただき、防衛省敷地内の施設見学を行い、「市ヶ谷台ツアー」にも参加し、極東国際軍事裁判（東京裁判）の法廷となった大講堂や有名な「三島事件」の部隊となった旧東部方面総監室（旧陸軍大臣室）などを移築・復元した市ヶ谷記念館、大本営地下壕などの見学を実施した。

今回の部隊研修で、激動の歴史の現場となった歴史的に貴重な施設を見学するとともに防衛省の中枢で働く自衛隊員の姿を直接見ていただいたことで、募集相談員の皆様に自衛隊の任務と自衛官募集の重要性をあらためて認識していただけたものと思う。

横浜中央募集案内所は、これからも自衛官募集相談委員会と連携して、募集活動の更なる充実に尽力する。

